



変わる! [授 業]

この度の学習指導要領改訂では、子どもたちが知識や技能を習得するだけでなく、習得した知識や考え方等を手段として、子ども自らが情報を収集したり、友達と課題解決に向けて話し合い、まとめ、表現したりする学習に取り組み、その過程の中で学びの質を高めるような学習にしていくことが求められています。こうした学習により、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続ける力を育成することが大切です。



話し合いながら課題を解決していく授業

小学校に導入されるプログラミング教育は、プログラミング言語を覚えたり、プログラミング技能を習得したりといったことを目指すものではありません。自分たちの生活が情報技術によって支えられていることに気付き、コンピュータに自分が意図した指示を入力する体験を通して、論理的に考える力を身に付けることを目標としています。また、小学校でのプログラミング教育の取組を踏まえ、中学校では技術・家庭科で、高等学校では情報科で、全ての生徒が実際のプログラミングを学び、情報活用能力を身に付けていきます。



小学校で行われたプログラミング教育の研究授業